



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 株式会社 近鉄エクスプレス

上場取引所 東

コード番号 9375 URL <http://www.kwe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石崎 哲

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 乾 和雄

TEL 03-6863-6445

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	200,656	—	10,291	23.0	11,057	23.1	7,604	16.5
23年3月期第3四半期	200,684	33.1	8,369	56.8	8,979	58.2	6,525	103.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 5,501百万円 (26.9%) 23年3月期第3四半期 4,336百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	211.23	—
23年3月期第3四半期	181.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	122,497	75,228	59.9
23年3月期	120,280	71,317	57.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 73,372百万円 23年3月期 69,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	18.00	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,000	1.6	13,300	11.8	14,000	9.1	9,200	16.7	255.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) KWE-KINTETSU WORLD EXPRESS (THAILAND) CO.,LTD.、除外 1社 (社名) TTK LOGISTICS CO.,LTD.

(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	36,000,000 株	23年3月期	36,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	714 株	23年3月期	599 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	35,999,356 株	23年3月期3Q	35,999,416 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）（以下、当第3四半期という。）における世界経済は、欧州の債務危機の拡大から景気の後退懸念が強まり、中国やインド等でも減速感が見られ始め、全体的に活況感に乏しいものとなりました。

我が国経済は、緩やかな回復基調にあります。東日本大震災の影響や外需の減退、長期化する円高等により、先行きに不透明感が強まりました。

当社グループの当第3四半期の航空貨物輸送は、日本での震災の影響に加え、薄型テレビやパソコン等の世界的な需要減退もあり、取扱物量は前年同期を下回りました。グループ全体の航空輸出貨物重量は前年同期比4.0%減、航空輸入貨物件数は同2.1%減となりました。また、海上貨物輸送は、輸出容積で前年同期比6.1%増、輸件数で同2.2%増となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

<日本>

航空輸出貨物は、東日本大震災やタイの洪水の影響により、自動車関連品でスポット貨物の取扱いがあったものの、エレクトロニクス関連品ではアジア向けを中心に輸送需要が大きく減少し、取扱重量は前年同期比16.1%減となりました。航空輸入貨物は、多機能携帯端末関連品や通信機器関連品で堅調な荷動きとなりましたが、その他の品目では強さが見られず、取扱件数は前年同期比4.6%減となりました。海上貨物では、輸出でエレクトロニクス関連品等の出荷が減少し、取扱容積で前年同期比4.1%減となりました。一方、輸入では住宅用断熱材など震災復興関連資材やパソコン周辺機器等が増加し、取扱件数で前年同期比2.4%増となりました。この結果、国内関係会社を含めた日本の営業収入は84,556百万円（前年同期比1.3%減）となり、営業利益は営業原価率の低減に努めたため、3,107百万円（同45.3%増）と大幅に増加しました。

<米州>

航空輸出貨物は、半導体・多機能携帯端末関連品を中心としたエレクトロニクス関連品やメディカル関連品の順調な荷動きにより、取扱重量は前年同期比7.7%増となりました。航空輸入貨物は、薄型テレビ、パソコン等において大手顧客の海上シフトの動きが見られ、取扱件数で前年同期比3.5%減となりました。海上貨物は、輸出で製紙用パルプや食品の取扱いが増加し、取扱容積で前年同期比19.7%増となった一方、輸入では既存顧客の物量に伸びが見られず、取扱件数で同3.3%減となりました。この結果、米州全体の営業収入は25,774百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は1,525百万円（同0.6%減）となりました。

<欧州・中近東・アフリカ>

航空輸出貨物は、ユーロ安の追い風やメディカル関連品を中心としたビジネス拡大もあり、取扱重量は前年同期比23.5%増と大きく増加しました。航空輸入貨物は、欧州債務危機の影響に加え、中・東欧向け貨物の減少等により、取扱件数は前年同期比5.1%減となりました。海上貨物は、輸出では太陽光発電関連品の出荷やメディカル関連品の取扱い増加により、取扱容積で前年同期比5.4%増となり、輸入でも既存顧客の順調な荷動きが見られ、取扱件数は同10.6%増となりました。この結果、欧州・中近東・アフリカ全体の営業収入は20,030百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は435百万円（同5.5%減）となりました。

<東アジア・オセアニア>

航空輸出貨物は、多機能携帯端末関連品の堅調な輸送需要が見られたものの、その他エレクトロニクス分野では物量の減少が顕著となり、取扱重量は前年同期比6.5%減となりました。航空輸入貨物でも、輸出同様に生産調整のため電子部品を中心に荷動きが鈍く、取扱件数は前年同期比2.1%増にとどまりました。海上貨物は、輸出でプリンターや液晶関連品で順調な出荷があり、取扱容積で前年同期比11.0%増となり、輸入ではエレクトロニクス関連品の堅調な荷動きにより、取扱件数で同3.6%増となりました。この結果、東アジア・オセアニア全体の営業収入は54,785百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は3,963百万円（同29.9%増）となりました。

<東南アジア>

航空輸出貨物は、期初に薄型テレビ関連のスポット貨物の寄与がありましたが、その後はエレクトロニクス関連品を中心に物量の減少が見られ、取扱重量は前年同期比4.1%増にとどまりました。航空輸入貨物はエレクトロニクス関連品の物量が低調に推移し、取扱件数は前年同期比5.7%減となりました。海上貨物は、輸出で自動車関連品の減少等により、取扱容積で前年同期比1.2%減となり、輸入でも大手荷主の物量が伸び悩み、取扱件数で同1.4%減となりました。この結果、東南アジア全体の営業収入は19,035百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は1,057百万円（同2.6%増）となりました。

以上のとおり、当社グループは一体となって販売活動を推進し、加えて固定費、流動費の抑制を継続して実施してまいりました。その結果、当第3四半期の連結営業収入は200,656百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は10,291百万円（同23.0%増）、経常利益は11,057百万円（同23.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べて2,216百万円増加し、122,497百万円となりました。

負債は、短期借入金が増加したものの、支払手形及び営業未払金や未払法人税等、その他の流動負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1,694百万円減少し、47,268百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ3,911百万円増加し、75,228百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き欧州債務危機の拡大による世界経済の後退懸念や新興国経済の減速など不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況下、当社グループでは市場の変化に迅速に対応すると同時に、業務の効率化を図るなど営業原価率の低減に注力し、中期経営計画（平成23年3月期～平成25年3月期）に策定のとおり、今後さらに成長が見込まれるアジア地域を中心に海外展開を加速し、従来からの主軸である航空貨物輸送に加え、海上貨物輸送、ロジスティクスの各事業をグループ一丸となり、積極的に拡大してまいります。

以上のとおり、当社グループの業績は世界景気、為替や原油価格の動向などにより変動する可能性もありますが、現時点における平成24年3月期の業績予想は平成23年11月8日に公表したとおり、営業収入は272,000百万円（前期比1.6%増）、営業利益は13,300百万円（前期比11.8%増）、経常利益は14,000百万円（前期比9.1%増）を見込んでおり、変更はありません。

上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、KWE-KINTETSU WORLD EXPRESS (THAILAND) CO., LTD. は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、TKK LOGISTICS CO., LTD. は清算したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,755	35,684
受取手形及び営業未収入金	42,415	41,514
その他	3,939	3,607
貸倒引当金	△246	△236
流動資産合計	77,864	80,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,972	18,472
土地	10,705	10,515
その他（純額）	3,086	2,834
有形固定資産合計	32,764	31,823
無形固定資産		
のれん	355	335
その他	1,475	1,295
無形固定資産合計	1,830	1,630
投資その他の資産	7,820	8,473
固定資産合計	42,415	41,926
資産合計	120,280	122,497
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	19,842	18,669
短期借入金	9,094	10,688
未払法人税等	1,956	1,134
賞与引当金	1,698	1,900
役員賞与引当金	205	80
米国独禁法関連引当金	1,014	813
その他	8,517	7,244
流動負債合計	42,329	40,530
固定負債		
長期借入金	4,850	4,873
退職給付引当金	1,042	1,210
その他	740	653
固定負債合計	6,633	6,737
負債合計	48,963	47,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,216	7,216
資本剰余金	4,867	4,867
利益剰余金	64,333	70,749
自己株式	△1	△1
株主資本合計	76,415	82,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	△40
為替換算調整勘定	△7,163	△9,418
その他の包括利益累計額合計	△7,084	△9,458
少数株主持分	1,985	1,856
純資産合計	71,317	75,228
負債純資産合計	120,280	122,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収入	200,684	200,656
営業原価	170,557	168,318
営業総利益	30,127	32,338
販売費及び一般管理費	21,758	22,047
営業利益	8,369	10,291
営業外収益		
受取利息	106	165
受取配当金	33	18
負ののれん償却額	26	26
為替差益	495	382
持分法による投資利益	18	92
雑収入	164	300
営業外収益合計	844	985
営業外費用		
支払利息	204	177
雑支出	30	42
営業外費用合計	235	219
経常利益	8,979	11,057
特別利益		
固定資産売却益	—	10
投資有価証券売却益	741	—
負ののれん発生益	188	—
米国独禁法関連引当金戻入額	—	212
受取補償金	—	389
特別利益合計	929	612
特別損失		
固定資産売却損	26	—
固定資産除却損	—	28
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	—	177
ゴルフ会員権評価損	6	24
子会社清算損	—	15
事業再編損	—	107
特別損失合計	32	355
税金等調整前四半期純利益	9,875	11,314
法人税等	3,062	3,343
少数株主損益調整前四半期純利益	6,813	7,971
少数株主利益	288	366
四半期純利益	6,525	7,604

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,813	7,971
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△133	△86
為替換算調整勘定	△2,328	△2,349
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△32
その他の包括利益合計	△2,476	△2,469
四半期包括利益	4,336	5,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,086	5,229
少数株主に係る四半期包括利益	249	272

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセア ニア	東南アジ ア	計				
営業収入										
外部顧客への 営業収入	84,806	22,944	16,588	57,877	18,260	200,477	207	200,684	—	200,684
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	824	1,278	710	634	254	3,702	1,324	5,027	△5,027	—
計	85,630	24,223	17,299	58,512	18,514	204,180	1,531	205,712	△5,027	200,684
セグメント利益	2,138	1,535	461	3,050	1,030	8,215	191	8,407	△37	8,369

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△37百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセア ニア	東南アジ ア	計				
営業収入										
外部顧客への 営業収入	83,560	24,560	19,306	54,238	18,783	200,450	206	200,656	—	200,656
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	996	1,214	724	546	251	3,732	1,197	4,930	△4,930	—
計	84,556	25,774	20,030	54,785	19,035	204,183	1,404	205,587	△4,930	200,656
セグメント利益	3,107	1,525	435	3,963	1,057	10,089	229	10,318	△27	10,291

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△27百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。